

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 12 月 24 日 (2020.12.24)

【公開番号】特開 2019-162189 (P2019-162189A)

【公開日】令和 1 年 9 月 26 日 (2019.9.26)

【年通号数】公開・登録公報 2019-039

【出願番号】特願 2018-50454 (P2018-50454)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 3 4

A 6 3 F 7/02 3 2 4 B

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 11 月 12 日 (2020.11.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

開閉可能な開閉部と、遊技領域が形成される遊技盤とを具備し、遊技領域に設けられる受入口に遊技球が入球したことによる抽選の結果に基づいて遊技の進行を行うことができる遊技機であって、

電子部品が実装される特定基板と、

第 1 鍵の操作によって第 1 の操作を行うことができる第 1 の装置と、

前記第 1 鍵とは別の第 2 鍵の操作によって第 2 の操作を行うことができると共に前記第 2 鍵の操作による信号ラインが電氣的に前記電子部品に接続される第 2 の装置と、
を備え、

前記第 1 の装置は、当該遊技機の前面側から接触可能な箇所に設けられ、当該第 1 の装置の筐体が電氣的に接地側へ接続され、

前記第 2 の装置は、当該遊技機の前面側から接触不能な箇所に設けられ、当該第 2 の装置の筐体が電氣的に接地側へ接続されず絶縁されるものであり、

さらに、前記第 2 の装置は前記遊技盤の裏面側に設けられ、

前記特定基板は、遊技の進行を制御する遊技制御部を有し、

前記第 2 の操作は、当該遊技機に生じた特定のエラーを解消する際に行われる操作であり、

前記遊技制御部は、当該遊技機の電源が投入される際に前記第 2 の操作が行われることで、前記特定のエラーを解消しうる

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 2】

従来より、遊技の制御を行う主制御基板がケースに収容された状態で裏側に配置される

遊技機が提案されている（例えば、特許文献１）。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００３

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００３】

【特許文献１】特開２０１６－２１４９７５号公報（段落〔００３０〕、段落〔００３１〕、及び図２）

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００４

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００４】

ところで、特許文献１に記載される遊技機のように、主制御基板がケースに收容されているものの、例えば、静電気放電によるノイズの影響を受けると、主制御基板のように遊技機の制御や管理を行う重要な基板が誤動作する可能性があり、遊技機に不具合が発生すると、遊技の進行に影響を及ぼし、遊技興趣を低下させてしまう虞があった。

【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００７

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００７】

上記した目的を達成するために、

本発明においては、

開閉可能な開閉部と、遊技領域が形成される遊技盤とを具備し、遊技領域に設けられる受入口に遊技球が入球したことによる抽選の結果に基づいて遊技の進行を行うことができる遊技機であって、

電子部品が実装される特定基板と、

第１鍵の操作によって第１の操作を行うことができる第１の装置と、

前記第１鍵とは別の第２鍵の操作によって第２の操作を行うことができると共に前記第２鍵の操作による信号ラインが電氣的に前記電子部品に接続される第２の装置と、

を備え、

前記第１の装置は、当該遊技機の前面側から接触可能な箇所に設けられ、当該第１の装置の筐体が電氣的に接地側へ接続され、

前記第２の装置は、当該遊技機の前面側から接触不能な箇所に設けられ、当該第２の装置の筐体が電氣的に接地側へ接続されず絶縁されるものであり、

さらに、前記第２の装置は前記遊技盤の裏面側に設けられ、

前記特定基板は、遊技の進行を制御する遊技制御部を有し、

前記第２の操作は、当該遊技機に生じた特定のエラーを解消する際に行われる操作であり、

前記遊技制御部は、当該遊技機の電源が投入される際に前記第２の操作が行われることで、前記特定のエラーを解消しうる

ことを特徴とする。

【手続補正６】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００８

【補正方法】削除

【補正の内容】